

 評価のポイント

CL-新人. 看護実践能力：ニーズをとらえる力

〔10-新人〕さまざまな症状を呈する小児への看護 呼吸器症状（基礎編）

1. 小児の呼吸器の解剖・生理学的な特徴には、どのようなものがあるでしょうか。

上気道の特徴や下気道の特徴を、こどもの呼吸にどう影響しているかを考えられるとよいでしょう。

例えば、頭部が大きいと、頸部が前屈し呼吸がしにくい、肝臓が大きく横隔膜が下がりにくいので換気しにくいなど。

2. 小児の呼吸器症状や発熱時の観察を行う時の注意点を挙げてください。

努力呼吸などの小児に特有の観察項目が確認できると良いです。

また、啼泣することでバイタルサインに影響が出る事を理解できると良いでしょう。

こどもの観察を行う時は、触れずに観察できるところから行う事が大切です。

3. 小児の呼吸器症状や発熱時のケアを行う時の注意点を挙げてください。

こどもの解剖生理学的な特徴に注意してケアを行う事が大切です。具体例として、体位保持や気道確保の方法、鼻腔吸引時の挿入方向などがあります。また、体表面積が広いと、大きすぎる冷電法も避けるべきです。